

平成 29 年 11 月 12 日

経営関連学会協議会（JFMRA）

理事会 議事録

日時：2017 年 11 月 12 日（日）10：30～12：30

会場：明治大学駿河台研究棟 4 階第 4 会議室

出席者

理事長	風間 信隆
副理事長（情報）	植木 英雄
副理事長（経営）	徐 方啓
理事（会計）	大塚 成男
理事（商学）	濱沖 典之
理事（経営）	佐藤 修
理事（会計）	吉岡 正道
特命理事	高橋 誠
特命理事	星野 靖雄
副理事長補佐	大塚 浩記
理事長補佐	池田 武俊

報告事項

第 1 号報告 会費納入状況について 風間理事長、事務局・三井田氏

多くの学会から会費の納付がされている。過年度分からの会費未納学会は減ってきており、今年度の分が未納の学会が幾つかある。まだ年度途中のため、そのような個別の学会に対しては年内に改めてご連絡を行うことが報告された。

第 2 号報告 電子版英文ジャーナル（JJM）第 3 号の発行について 徐副理事長

徐副理事長より、以下の事柄が報告された。

スケジュール通りに、先週、No.3 が発行された。学会賞受賞論文が手続きにのっとり始めて投稿された。JJM の No.4、No.5 も進められており、ホームページ上にバックナンバーが 3 号分公開されている状況になった。

JJM の継続的な発行に向けての課題は、発行インターバルが短さにとまらう投稿数の減少、認知度の低さ、査読者の不足である。

そこで、以下の対策を進めたい。

第 1 に加盟学会のホームページから経営関連学会協議会のホームページにリンクさせ、そこから協議会と、JJM の最新情報にアクセスできるように加盟学会にきちんと呼びかけていきたい。この情報伝達をきちんと確立することで、JJM だけでなく経営関連学会協議会のシンポジウムや他の活動についてきちんとお知らせすることにもなるので、評議員会でもきちんとお伝えしたい。

平成 29 年 11 月 12 日

第 2 に電子版英文ジャーナルの編集方針（改正版）第 8 条にある、年間優秀論文（Best Paper）と、優秀査読者（Best Reviewer）の選出と賞状の授与である。具体的な選出方法については、次回理事会までに担当理事の間で検討する。

JJM の投稿を活発化させることが必要であるが、二重投稿にならないように注意していかなければならない。この課題については、翻訳論文であることの示し方など、今後、既存の英文雑誌の事例を研究しながら検討していくことが確認された。

現在、学会推薦の論文のみを英訳投稿対象としている。今後、投稿の活発化に向けて、今後の編集委員会で引き続き検討していくことが確認された。

JJM の創刊趣意について、HP のトップに趣意文を載せることが確認された。

第 3 号報告 役員選挙（2018 年 3 月 4 日）について 風間理事長

現理事会の任期はあと半年である。役員選挙は現理事会が担当する（内規 6 の第 4「役員選挙に関する業務は前理事会が担当する」）

選挙に向けて評議員を確定する必要があるが、各学会から評議員の変更についての情報が提供されていないケースが散見される。選挙を公正に行うためには選挙人をきちんと確定する必要があるので、年末までに各学会に評議員を確認する内容を郵送する。スケジュールとしては、1 月末日までを評議員変更期日とし、その名簿をもって、有権者名簿として準備していくことが確認された。

3 月 4 日の選挙方式は、その場合の分野は問わない 5 名連記とし、高得点者から、経営 6 名、情報 3 名、会計 3 名、商学 3 名の計 15 名を理事として選出することを理事会として確認された。

なお、連続 3 選禁止規定により、風間理事長、佐藤信彦副理事長、橋本理事の 3 人は、被選挙権がないことが確認された。

3 月 4 日の選挙管理委員会は、風間理事長、佐藤信彦副理事長、橋本理事の 3 人に大塚副理事長補佐、池田理事長補佐の 2 人を加えた 5 人より構成されるが、開票作業には選挙管理委員の監督の下で当日のアルバイト学生にも参加させる。開票結果はただちに評議員会において報告する。

第 4 号報告 講演会（2018 年 3 月 4 日）について 風間理事長、植木副理事長

講演者の奥林先生の都合により、14：00～15：15 を目途に講演と質疑応答に設定する。

そのため、講演会の前に実施する評議員会は、12：30 から 13：50 までとする。

なお、講演会終了後、15：30 から新旧役員が一堂に会して、申し送り事項を協議する新旧役員会の場を設ける。

第 5 号報告 加盟学会全国大会状況について 風間理事長

平成 29 年 11 月 12 日

協議会のホームページにカレンダー機能を追加し、カレンダー形式で各学会の全国大会情報が把握できるようになった。情報共有、日程調整がしやすくなった。全国大会の情報が集まるように引き続き呼びかけていくことが確認された。

第 6 号報告 その他

なし

協議事項

第 1 号議案 日本創造学会国際学会の後援について

日本創造学会の 40 周年記念大会として 2018 年 9 月 10～12 日に大阪で開催される「The International Conference on Creativity and Innovation 2018」に後援することが、審議の後、承認された。

第 2 号議案 新規入会申請について

日本国際観光学会より入会申請があり、審議の結果、承認された。この加盟により、経営関連学会協議会の構成学会は 60 学会になった。

第 3 号議案 その他

なし

以上